

クラッシングセンター 遺体捜索隊現場

宮城県
亘理郡山元町

クラッシングセンターの一年間を振り返る 自衛隊第一大隊とともに



山元町役場前



亘理郡山元町

すべては一本の電話から

四月三日、朝八時前。それは一本の電話から始まった。宮城県村田町、今野建設の社長からだった。「桐生さん、回転フォークを出来るだけ多くかき集めて明日の朝、亘理郡山元町役場まで来てくれないか。」東北訛りの突然の電話だった。一度も会った事もない人からの電話。山元町が何処にあるのかすらわからなかった。私は「わかりました。」とその場で約束をしてしまった。

その日の夜九時、四台の回転フォークと三台の収集運搬車、数名のオペレーターと共に我々は被災地山元町を目指し高速道路を北へと向かった。

朝八時、約束の山元町の役場に到着すると自衛隊から数分の簡単な説明を受けた。遺体は瓦礫の中ではなく、瓦礫と土の間か、もしくは土の中にあるので何かを感じたら直ぐに後ろにいる私達に連絡をして下さい。それだけだった。

自衛隊員の誘導により、それだけの遺体捜索現場に向かった。辺り一面の瓦礫の中、動いているのは神戸からのレスキュー隊、消防車と時折見えるパトカーだけだった。海沿いの何も無い国道38号線を相馬市方面に走った。駅のホームと鉄骨の階段しか残っていない町があった。頭が重く、

息苦しさで気分が悪くなった。そこからは先へは進めなかった。夜、宿舎に戻った。

興奮して体が熱くて眠れない夜が続いた。今日は何人発見したんだ。四体です。自衛隊は真新しい手袋に付け替えた。ブルーシートが運ばれる。ブルーシートの下から足が見えた。

集めた瓦礫の中から遺体が発見された事もあった。想像もできない場所から遺体が発見されると、また新たに回転フォーク部隊が早朝に集められる。自衛隊のトレーラーでまた新たな現場へ向かう。文章に出来ないような場面もあった。

それから遺体捜索は二ヶ月間続いた。

ある時、オペレーターから突然「ありがとうございます。」と言われた。「どうした。」と聞くと、遺体捜索に参加が出来ること、今起きていたことを手伝えること、それがうれしんです。想像もしていなかった言葉。いつしかメンバーの気持ちも、やらなければいけないんだ、やるんばりという使命感に変わっていた。自分自身不安もあったが、胸が熱くなる感動をおぼえた。来て良かったと思っただけで、我が社には遺体捜索を嫌がるオペレーターは一人もいなかった。それが誇りだ。

もうすぐ一年をむかえる。

社内報

www.mokuchip.com
2012年(平成24年)3月11日

募集

クラッシングセンター株式会社

収集・運搬 01515014379
処分 01525014379福島 宮城
群馬 埼玉
新潟産業廃棄物中間処理
処分・分別リサイクル
建築物解体工事一式請負

東北支店

宮城県亘理郡山元町高瀬字柳町 96
TEL:0223-36-8622
FAX:0223-36-8623

本社・工場

新潟県南魚沼市茗荷沢 1472-1
TEL:025-779-3330
FAX:025-779-3348

工事部・経理

新潟県南魚沼市茗荷沢 1059
TEL:025-779-2001
FAX:025-779-3223

山元町38号線沿い

新潟・福島 激甚災害



畑の土にリサイクル



スーパーフィンガー



非可燃物・鉄屑を手選別するユニット



土の中から分別した木屑

移動式分別リサイクルプラント

「スーパーフィンガー」分別リサイクルで活躍

南魚沼市で4月から再稼働

南魚沼市は土砂崩れ瓦礫をリサイクル

新潟・福島を襲った激甚災害。その爪痕は水田や畑などの農地にも甚大な被害をもたらした。我々クラッシングセンターでは、今まで捨てて事すら出来なかった震災瓦礫をなんとかリサイクルすることが出来ないかと移動式分別リサイクルプラントの開発に取り組んだ。

同じ志を持つ技術者の協力により、試行錯誤を繰り返して、移動式分別リサイクルプラント「スーパーフィンガー」を開発した。

「スーパーフィンガー」の特長は移動式であり、粘性度の高い土、そして混合瓦礫を分別することが可能にしている。組み立てが容易に行えるので、被災地に設置することでより迅速に効果的な作業が可能になる。

さらに様々な分別ユニットを組み合わせた事で用途に合わせたリサイクルが可能となる。震災瓦礫を上質な客土(田んぼの土)や畑の土にリサイクルする事が出来る様になったのである。

土砂崩れ混合瓦礫、水害混合瓦礫、ダム・河川混合瓦礫、震災混合瓦礫を上質な客土・畑の土にリサイクル

どんな小さな解体でもお手伝いします。

電話一本で日本中どこへでも伺います。小さな木造住宅から
解体のご相談は025-779-2001 クラッシングセンター株式会社

●有害物質の除去施工・調査・設計

●解体工事(木造・RC・鉄骨・各種特別解体・各種リサイクル工場あり)

●分別機械のリース(スーパーフィンガーなど)



塩沢郵便局解体工事



南魚沼市消防本部解体工事



大和児童センター解体工事



小出郷クリーンセンター解体工事



浦佐屋旅館解体工事 他多数

子ども達の未来のために

ストーブ用ペレット・大型ボイラー用ペレットのご用命は

森林再生・林業活性化 地域おこし・循環型社会 持続可能型エネルギー

ウッドペレット株式会社では災害で発生した混合瓦礫から分別された生木や抜根、木材などをペレット(木質燃料)にリサイクルしています。リサイクルされたペレットは南魚沼市バイオマスタウン構想に基づき、石打ユングバルナスや南魚沼市立 浦佐認定こども園などで床暖房・冷房のエネルギーとして利用されています。

日本初の未利用材チップ 乾燥機付き バイオマス発電所 会津磐梯 4月始動

クラッシングセンターはこの魚沼の地に資源循環型の森林未利用材を用いた安心で安全なバイオマス発電所を、地域おこしと未来のために建設することに取り組んでいます。森林の再生と林業の活性化を図るこの取り組みを、グリーン・サーマル社と連携し地域の皆様と一緒に進めていきたいと考えています。今後、見学会や勉強会を行っていききたいと考えています。未来のために、地域のために。クラッシングセンターの挑戦は続きます。

建設の始まった
福島県東部バイオマス発電所

クラッシングセンター これからの一年 未来のために

下水道工事は不調、辞退する会社が相次いでいる。地下水位が高く砂地でウエルポイント工法にならぬので、布て手が出せない。6号線から西なら別である。防潮堤のテトラ布設は数万個の見積を出した。岩沼市から始まるコンクリートスーパー堤防は数十kmはあるだろう。盛土スーパー堤防は数百kmはあるだろう。さらに鉄道、除塩、住宅、下水などのあらゆる工事が始まる。

山元町から原発(20km圏内)まで一時間、南相馬市まで三十分、相馬市まで二十分。除染作業は山や田んぼ畑までおこなった何年もの続く。その後には瓦礫回収、解体工事などの復旧作業が始まる。現場は淡々と仕事をしていくしかない。

二〇km圏内の除染作業で実績を残したクラッシングセンターはこれを足掛かりに、これから始まるありとあらゆる工事に関わっていくことになるだろう。クラッシングセンターも変化をしながら素早い対応をしていけばこの先十年は復旧作業に関わるだろう。

また作業だけでなく、被災地とも関わり続ける。マスコミにも取り上げられないような小さな仮設住宅も沢山ある。そんな人達と楽しい時間を作ろうと思う。クラッシングビレッジでは仮設住宅のお母さん達からもお手伝いしてもらっている。お花見やバーベキューはそんなお母さん達との大切な約束だから。

クラッシングセンターは災害復旧作業を現場で行いながら、その教訓を活かし、これからの未来のために少しでもお役に立ちたいと考えている。

代表取締役社長 桐生泰二郎